



石部中学校 校報  
 湖南省宝来坂四丁目3-1  
 TEL:77-3781 FAX:77-6802  
<http://www.edu.konan.jp/ishibe-jh/>

## 夏季総体・県吹奏楽コンクールの結果について 水泳 M.K君200m平泳ぎ、見事近畿大会出場！！

去る7月20日～22日に夏季総体ブロック予選、7月26日に県吹奏楽コンクール予選、7月28日、29日に県夏季総体、8月9日に近畿総体が開催され、生徒は懸命に走り・跳び、泳ぎ、ボールを追いかけ、演奏等を行いました。

普段の力がなかなか出せずに悔しい思いをした人(チーム)や、強豪と対戦して惜敗した人(チーム)もあつたと思いますが、3年生にとっては最後の公式試合となりました。(バスケットボール男子は県ベスト8という結果でしたが、県総体2回戦で近畿総体に優勝した信楽中と対戦し、すばらしい試合をしましたが、残念ながら敗退しました。)

水泳では、3年生の出場者が多い中で、2年生のM.K君が200m平泳ぎで県総体第3位に入り、見事近畿総体に出場しました。残念ながら決勝には残れませんでした。2年生での近畿総体出場、すばらしいことだと思います。よくがんばりました。

### 3年生の皆さんへ

今まで3年間取り組んできた努力は決して無駄にはなりません。夏の暑さや冬の寒さの中、皆さんが今までしてきた努力は、精神的にも肉体的にも「皆さんの内なる肥料」となって、皆さんのこれからの人生を支えてくれると思います。ご苦労様でした。

なお、各種大会の結果を下に記載しますのでご覧ください。(ホームページにも掲載しています。)

### 夏季総体ブロック予選結果

水泳	M.K	100m平泳ぎ	1'15"21	
	M.K	200m平泳ぎ	2'44"48	ともに県総体出場決定
陸上(通信陸上)	M.Y	400m	上位大会出場ならず	
バレーボール		予選リーグ	石部0-2土山、石部2-0信楽	
		決勝トーナメント	石部0-2水口	
ソフトテニス		団体戦 予選リーグ	石部0-3水口、石部0-3信楽、石部0-3土山	
			決勝トーナメント進出ならず	
バスケットボール男子		石部100-28甲賀、石部75-65甲西北、石部78-41水口		
		石部35-89信楽		第2位 県総体出場決定
バスケットボール女子		石部46-44甲賀、石部49-37城山、石部35-40甲南		第3位
卓球男子		団体戦 予選リーグ	石部0-5水口東、石部1-4城山、石部3-2甲西北	
			決勝トーナメント進出ならず	
卓球女子		団体戦 決勝リーグ	石部0-5甲西、石部1-4甲南、石部0-5土山	
			石部1-4水口、石部1-4水口東、石部3-2甲西北	
サッカー			石部7-0水口東、石部1-2甲西北	
剣道		団体戦	リーグ戦 0勝3敗(対 甲南・甲西・水口)	
野球			石部2-2粟津(プレーオフ 0-2)	

### 夏季総体県大会結果

水泳	M.K	100m平泳ぎ	県第5位	1'16"24	
	M.K	200m平泳ぎ	県第3位	2'43"23	近畿総体出場決定
陸上	M.Y	400m 予選	第1組第5位	57"30	決勝進出ならず
バスケットボール男子		1回戦	石部66-59彦根南、2回戦	石部42-76信楽	県ベスト8

### 近畿総体結果

水泳	M.K	200m平泳ぎ	2'46"39	予選通過ならず
----	-----	---------	---------	---------

### 吹奏楽コンクールブロック予選結果 奨励賞

## 県中学生広場「私の思い2008」 3年生、I.Aさん、最優秀賞に輝く！！

昨日8月31日（日）に野洲市さざなみホールで開催された県中学生広場「私の思い2008」で、本校から出場した3年生I.Aさんが、見事最優秀賞（県第1位）を獲得しました。

発表した『平和への一歩』は、内容的にも、発表の仕方も大変すばらしく、「(身近な平和を)まずは自分の出来ることから貢献していきたい。」という最後の言葉が終わると、会場からは大きな拍手が沸き上がりました。(最優秀賞受賞は昨年度のS.Mさんに続いて本校として、2年連続となります。)

作文の内容は次の通りです。

### 平和への一歩

石部中学校 3年 I.A

「世界のあちこちでは戦争がおきているという話をよく聞きます。今、私たちに出来る事は何でしょうか。それはこの長崎で見た戦争の悲惨さやむごさを次の世代に伝えていくことだと思います。原爆で起きた悲劇、被害にあった人々の思い。これらを私たちは決して忘れてはなりません。原子爆弾で亡くなられた方々の御冥福をお祈りし、地球上にある核兵器をなくすことが出来るよう、決してあきらめることなく世界平和に向けて努力することを宣言します。」

これは、この四月、長崎方面へ修学旅行に行った時、原爆中心地で読んだ平和アピールの一部です。私が「平和」について考えるきっかけになったのは、この平和アピールの担当になったことでした。毎日、一生懸命平和や戦争についてインターネットや本で調べ、たくさんの資料を読みました。そして、原爆によって皮膚が焼けただれた人や灰になった人々など、今まで知らなかった戦争の被害者と出くわしたのです。あまりのひどさに、悲しみを覚えました。さらにこれは過去のことで、今につながっていないと考える人もあり、衝撃をうけました。そこで、私たちの生まれる前にあった悲惨な戦争のこと、平和の大切さを皆に伝えておきたくなり、平和アピールにまとめました。平和アピールを読んだ時、皆の静かな反応にアピールに込めた私の思いが伝わったことを感じる事が出来、本当に嬉しかったです。

でも、続いている語り部さんの話を聞き、私の「平和」に対する思いは、何か違うなと感じられるようになってきたのです。

語り部さんは「皆さんは、今、日本は平和だと思いますか」と聞いてこられました。私は「はい」と答えました。すると「なぜそう思うのですか」と重ねて聞いてこられたので、何の迷いもなく「戦争がないからです」と答えました。実際、この時はそう思っていたからです。すると語り部さんは、「人によって感じ方は違うと思うのですが、私は平和ではないと思います。今、日本では自殺する人、殺される人、事故でなくなる人がたくさんいます。このようにして亡くなった人を人間らしい死に方と呼べるのでしょうか。戦争がなくても、人間らしい死に方が出来ないのであれば、それは平和ではないと私は思います」と静かにおっしゃいました。

私はこの考え方を聞いてドキリとしました。人間らしい死に方が出来ないということは、人間らしい生き方が出来なかったということではないか、つまり、今の私の生活は「平和」ではないことに気づかされたのです。確かに今、日本は戦争をしていませんが、それを「平和」とは呼べない気がします。最近では凶悪な犯罪がたくさん起こり、いつ戦争が起こってもおかしくない状況にあるからです。これでは語り部さんがおっしゃっておられるような、みんなが安心して過ごせ、悔いの残らない生き方が出来る「平和」とはほど遠いものがあります。

語り部さんの思う「平和」を見つけない、私は自分の身の回りを改めて振り返ってみました。すると私の周りにはあふれるほどの暴言。その暴言によって不安や悲しみ、心の痛みを感じている人がたくさんいます。こんなことでは「平和」とは呼べません。

私は考えました。勇気はあるけれど、私が何かをしなければならぬ、と。それを私はあいさつを大切にすることから始めようと思います。「ありがとう」「ごめんね」そんな簡単な言葉をかけ合うことがお互いを気持ちよくさせ、そうした言葉がとびかうようになれば、学校全体の雰囲気も良くなるはずですよ。暴言を使う気にならない学校はきっと過ごしやすい場になるに違いありません。

そんな学校を私たち自身の手で創っていくことが私の望む「平和」。まずは自分の出来ることから貢献していきたいと思います。